



感染症対策 NANOSHIELD (ナノシールド)

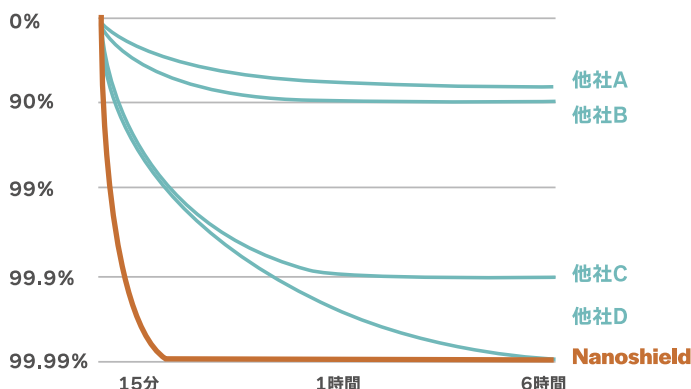


NANOSHIELD (ナノシールド)技術の日本国内販売代理店として、行政に対し各種菌&ウイルスの二次感染リスクを抑える防災力強化支援を実施しております。弊社の抗ウイルス技術は、エンベロープ有り(新型コロナウイルス・インフルエンザ等)、無し(ノロウイルス等)を問わず、幅広い抗菌&抗ウイルス対策を実現できます。

即効性

本技術を用いれば、3~15分以内に99.99%の各種細菌&ウイルスを不活性化します。

菌・ウイルス除去率



個人の方で抗菌・抗ウイルス環境を整えられる、コーティングシート。

持続性

抗菌&抗ウイルス性コーティング、PP樹脂ペレット、フィルム、液状フィルムのプロテクト効果は長期に渡り効果を維持し続けます。アルコール消毒は瞬間的な処置である事に対し、NANOSHIELD 技術を採用したコーティングシートであれば業者を頼らずとも個人で持続性のある抗菌&抗ウイルス環境を整える事が可能になります。

抗菌&抗ウイルス化されたマスクであれば5日間程度の連続使用をお勧めしています。備蓄を前提としたマスク確保となれば、ストックスペースが5分の1に縮小される事になります。



推奨使用期間5日間で運用することにより備蓄量を削減できる、抗菌・抗ウイルスマスク。

GLOBAL活動

シンガポール政府のNEAからは「新型コロナウイルス に対しての即効性 & 持続耐久性性能は、最有力グレード!」と評価いただいています。



Nestle社のコーヒーマーカーのタッチスクリーンに抗菌フィルムが2021年に搭載されており、表面を介した感染症の伝染を減らすことに貢献しています。



※GLOBAL採用事例は他にも多数ございます。
フィリピン教育省主導で配布されたタブレットに抗菌・抗ウイルスフィルム採用等々。

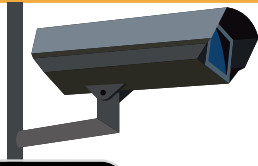


抗菌・抗ウイルスフィルム等による表層被膜ソリューションを揃えています。

*LED光源で1.2m先のウイルス不活性化を達成できています。

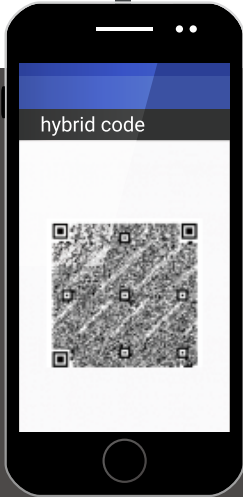


DX社会で活かせる、ハイブリッドコードの普及



万全のセキュリティでユーザー情報を預かり、より便利な社会を提案します。

(株) インターメディア研究所の技術指導に基づき、行政に対して防災力強化の取組みを進めています。先進国社会における個人情報保護のニーズに対しても役に立てられている技術です。



格納できるデータ量は桁違い

コードに格納できるデータ量は、従来のQRコードの10倍超と大きく、バージョン16のQRコードでは、テキストデータは日本語約7,000字、顔写真などの画像(4.7KB程度)も記録できます。さらに、ディスプレイへの表示では、時系列変化することにより100倍以上のデータ量を格納できます。



万全のセキュリティ

従来のQRコードは偽装が可能と判明しています。生成・読取の仕様を公開している従来のQRコードの問題を解消するため、ハイブリッドコード(特許取得済み)は、生成法・読み取り法は非公開にします。



インターネットを経由せずにデータの受け渡しが可能

インターネットを経由しないためセキュリティ性が極めて高く、サーバーの構築・運営費用も掛かりません。高機密情報の受け渡しなどに応用可能です。

ユーザーが顔写真をハイブリッドコード化して市町村へ預ければ

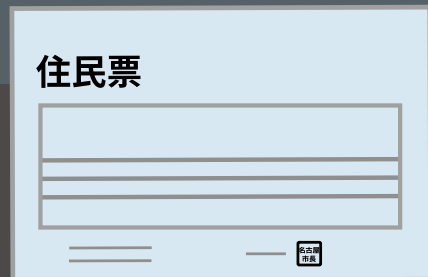


災害時の情報取得

電柱や郵便ポストにハイブリッドコードを設置し、その中にハザードマップを格納すれば通信不可の環境でも情報取得が可能になります。

置き配の顔認証システム

ユーザーが顔写真をハイブリッドコード化して物流業界へ預ければ、宅配ロボットに付随するカメラが顔を照合して、確実な荷渡しが可能です。



重要書類のコード化

住民票等の公的書類をハイブリッドコード化し、交付はハイブリッドコードを印字した書類郵送で完結します。

住民票等の提出先(法人)にハイブリッドコード開封権限を与えれば、ユーザー以外も内容の閲覧が可能となります。

